

# 「元祖フルートの貴公子」いまや巨匠の域へ・・・

## ランパルの愛弟子、21歳でフランス国立管弦楽団首席就任

他の追隨を許さない繊細多彩な音色と鮮やかな技巧は未だ健在  
世界中のフルーティストたちも尊敬するフランスの名手

# パトリック・ガロワ

フルートリサイタル ピアノ：瀬尾和紀

### \*パトリック・ガロワ Patrick Gallois, Flute

1956年フランス北部ランセルに生まれる。17歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ジャン＝ピエール・ランパルに師事。リール国立管弦楽団の首席を経て、21歳でマゼール率いるフランス国立管弦楽団の首席となり、一躍スター・フルーティストとしての座を確立。同団に在籍した7年の間、ブーレーズ、小澤征爾などと多くの録音を残し、またバーンスタイン、チェリビダツケらからも多大な薫陶を受けた。

1984年からは、ソリストとしての活動に専念。日本ビクターにて多くの録音を重ね、毎年にも渡る日本ツアーを行う。モーツァルトの協奏曲集のアルバムでは日本でゴールドディスク賞を受賞。その後、フルーティストとしては初のドイツ・グラモフォンとの専属契約を結び、10枚を超えるCDをリリース。さらに指揮者として新たな音楽の可能性を求め、現在はナクソスと契約を結び25枚ものCDを録音。現代音楽へも意欲的に取り組み、多くの作曲家がガロワの為に作品を捧げている。

近年は指揮者として世界各地のオーケストラに招かれている一方、フルーティストとしても、パリ、ロンドン、ニューヨーク・カーネギーホールなどで定期的に演奏会を行い、2017年には弟子である瀬尾和紀との共演でメルカダントのフルート協奏曲第2集（共演：チェコ室内管）やW.F.バツハの二重奏曲集などの録音が完成予定。

### \*瀬尾和紀 Kazunori Seo, Piano

フルート奏者、近年は指揮者、ピアニストまた編曲でも活躍中。フルート奏者としては、1998年、パリ国立高等音楽院を首席卒業し、ニールセン国際音楽コンクール、ジャン＝ピエール・ランパル国際フルート・コンクール、ジャン・フランセ国際音楽コンクール、ジュネーヴ国際音楽コンクールなどで立て続けに優勝・入賞を果たした。国内外のオーケストラとの共演を重ね、また国際フルートコンクール等で審査員を務める。



ピアニストとして、フランスのオールネイ・スー・ボワ国立音楽学校ではフルート科専任伴奏員を長年務めているほか、フルートの師であるパトリック・ガロワとのデュオでも好評を博している。2011年に名古屋・三井住友海上しらかわホールで行ったプロジェクトでは、ベートーヴェンの「英雄」、マーラーの交響曲第9番の室内楽版を編曲。斬新な企画と演奏で大きな反響を呼んだ。



### 《プログラム》

ドビュッシー(瀬尾和紀 編): 牧神の午後への前奏曲  
 フランク: ソナタ イ長調      ゴーベル: バラード  
 ヴィドール: 組曲 Op.34      プーランク: ソナタ

2019年2月1日(金) 18:45開演 18:15開場 指定席 一般:4,500円 学生:2,700円

※チャリティーシート(AB列中央23席/差額は寄付いたします):4,950円 ※ハーフ60(後半当日券):2,700円

発売日 宗次ホール友の会会員 9/8(土) フレンズ会員 9/9(日) 一般 9/16(日)

チケットのお求め・お問い合わせ 宗次ホールチケットセンター ☎052-265-1718(営業時間10:00~16:00または18:00)